



CONTENTS - 5月のラインナップ

＜特集＞ 会員大会ご案内 …1

経済アナリスト・森永康平氏 講演「残る企業、伸びる企業、消える企業」

＜経営・実務＞

- ・新潟市：省力化・省エネ化補助金 …1
- ・労働保険の年度更新、はじまります！ …3



＜セミナー情報＞

- ・情報セキュリティセミナー（6/27開催） …3
- ⇒その対策、見直しませんか？

＜調査・統計＞

- ・日本商工会議所 LOBO 2025年4月結果 …3



＜労務・人事の基礎知識＞



- ・従業員の身だしなみ・マナー指導、どこまでOK？ …2
- ⇒トラブルを防ぐための労務管理のポイントを解説

＜健康・生活＞

- ・医療コラム：“脳疲労”の原因とセルフケア …4
- ⇒日常でできる予防と回復法



NEWS

新潟市 省力化・省エネ化補助金

中小製造業、物流業の事業者に対して、省力化・省エネ化に資する生産設備やデジタル技術（ソフトウェア・システム等）の導入に要する費用の一部を補助します。

【申請期間】令和7年3月3日から令和8年2月末まで（予算の範囲内）

【対象者】市内に工場及び物流施設を有する中小企業者

製造業・新聞業・出版業・道路貨物運送業・倉庫業・こん包業・港湾運送業

※建設業、卸売業、小売業（製造小売業を含む）等は対象になりません。

【補助対象経費】

取得価格160万円以上の「機械及び装置」並びに「デジタル技術（ソフトウェアなど）」の導入経費（注記）上記には、導入・活用コンサルティング、クラウドサービス利用料、機能拡張、保守サポート、PC又はタブレット等のハードウェア（デジタル技術を導入するために必要な場合のみ）なども含まれます。

【詳細・お問合せ先】下記新潟市HPよりご確認ください。

https://www.city.niigata.lg.jp/business/kigyo/shienseido_setsubi/shouryokuka.html

PICK UP! 今月の注目ポイント

令和7年度 会員大会

日本経済の展望を基に考える ～ 残る企業、伸びる企業、消える企業 ～

2025年 **7** 月 **28** 日（月） **16:30～19:30**

ホテルオークラ新潟 4階コンチネンタル

【講師】 (株)マネネCEO／経済アナリスト **森永 康平** 氏

【参加費】 1名様 7,700円（税込）

【詳細・お申込み】

詳細・お申込みは当所HPから！



交流会付
200名
先着順



今月のテーマ【従業員の指導】

鷲頭 社会保険労務士事務所 鷲頭 正

今回は、従業員の身だしなみや行動に関する指導をするときの注意点について確認します。

身だしなみに問題がある、問題行動を起こすなどで、他の社員や顧客に不快感を与える社員がいる場合、企業として適切な指導や対応を行うことが必要です。注意すべきポイントを確認します。

身だしなみについて指導ポイント

1. 就業規則による指導

就業規則に身だしなみに関する規定があるか確認しましょう。（就業規則の服務規律または、関連する規程に身だしなみに関する規定をしておくことが必要。）

そして、就業規則の身だしなみや行動に関する規定に基づいて指導します。

2. 合理的な範囲内での制限

従業員の身だしなみを制限する際は、企業の円滑な運営上必要かつ合理的な範囲内で行うべきです。

顧客や他の従業員に不快感を与えるような身だしなみについては、その企業としての必要性の範囲において、就業規則に定めた事項に基づく職場秩序として指導します。

3. 注意指導

身だしなみは個々の価値観もあります。社内での身だしなみが問題となる従業員に対しては、口頭でやんわり注意するか、就業規則に反することを指摘した上で注意指導を行いましょう。



4. 入社時の説明と共通認識

採用時に、就業規則の服務規律について説明・指導し、就業規則に則った行動への理解を求めます。

注意や指導を行うポイント

1. 注意・指導の方法

口頭での指導は問題行動があった場所で直接指導することができます。また、社員の心情を傷つけにくいものです。

書面による指導書（「注意書」「改善指導書」など）も効果的です。具体的な改善点を示し、社員に理解させることができます。

2. 具体的に説明

何が問題なのか、具体的な例を挙げて説明します。曖昧な表現ではなく、明確に伝えましょう。

3. 適切なアドバイス

批判だけでなく、どのように改善できるか具体的なアドバイスを提供します。

4. 注意すべきポイント

社内ルールの周知を徹底しましょう。理解不足の社員には研修などの機会を設定して指導します。

5. 書式の活用

指導書や注意書をなど、書面による注意喚起を行います。

書面は、問題行動の証拠となり、また、企業としての指導の証拠ともなります。（指導書面は外部に波及する問題発生時において重要となります。）

• これらのポイントに基づいて指導を行うことで、従業員にとっても受け入れやすい環境を提供し、職場の雰囲気を良好に保つことができるでしょう。

• 社員を指導するときは、就業規則が基本になります。一度就業規則（別規程を含む）の点検を行いましょう。

手続き期間は、令和7年

6月2日（月）～7月10日（木）まで申告と納付は
お早めに

前年度の保険料を精算するための確定保険料の申告・納付と
新年度の概算保険料を納付するための申告・納付の手続きが必要となります。

【年度更新の申告・納付先】

「労働保険概算・確定保険料／石綿健康被害救済法一般拠出金申告書」（以下「申告書」といいます。）を作成し、その申告書に保険料等を添えて、金融機関、所轄都道府県労働局又は労働基準監督署に、6月2日から7月10日までの間（土日祝日を除く）に提出していただく必要があります。

【相談はお気軽に！】 新潟商工会議所 TEL：025-290-4411

当所では、書類記入のサポートも行っています。

「書き方がわからない」「初めてで不安」という方は、お気軽にご相談ください。

【詳細・お問合せ】 年度更新に関する詳細は、

新潟労働局HPよりご確認ください（こちらをクリック）

その対策、見直しませんか？

実は、中小企業を狙ったサイバー攻撃が急増しています。
実際に「不審メールでウイルス感染」「顧客データが漏洩」など、
深刻な被害も報告されています。
まずは、できることから見直してみませんか？

今すぐはじめたい！
サイバー対策の基本

- パスワードは複雑に（誕生日・社名はNG）
- ソフトウェアは常に最新版に
- メールの添付やリンクは不用意に開かない

「何から始めればいいのかわからない…」という方へ。

6月27日（金）開催の情報セキュリティセミナーでは、
明日からできる具体的な対策を、実例を交えてわかりやすく解説します。

日 時：6月27日（金）14：00～16：30

会 場：新潟商工会議所 大会議室

受講料： 会員2,000円 / 非会員：9,000円

詳細・お申込みは
二次元コードまたはwebから >>>



日本商工会議所 早期景気観測 調査結果のポイント LOBO 2025年4月結果

業況DIは、消費マインド低迷等が足かせてほぼ横ばい先行きは、トランプ関税への懸念から慎重な見方

- 全産業合計の業況DIは、▲18.5（前月比+0.7ポイント）
- サービス業は歓送迎会需要や観光需要により、ハレの日関係の利用が増えた飲食店が押し上げ、改善した。製造業は、サービス業からの引き合い増加で、飲食料品関係を中心に改善した。小売業では新年度需要はあるものの、消費マインドの低迷が足かせとなり、ほぼ横ばいとなった。建設業は資材価格や労務費の高騰で悪化し、卸売業は建設業からの引き合い減少やガソリン価格の高騰で悪化した。
- 新年度需要や観光需要は好調なものの、人手不足が継続しているほか、ガソリン価格やコメ価格をはじめとしたコストが増加している。今後への不安感から消費マインドが低迷しており、中小企業の業況はほぼ横ばいにとどまった。
- 先行き見通しDIは、▲19.8（今月比▲1.3ポイント）
- 好調に推移するインバウンド需要のほか、大型連休への期待もある一方、今年は連休の日並びが悪いことから例年ほどの恩恵は受けられないのではないかとという声も聞かれた。コスト増や人手不足といった経営課題も山積している。
- また、トランプ関税が今後の日本経済に与える影響を懸念する声が多数聞かれ、今後の動向の不透明さから先行きは慎重な見方となっている。



”脳疲労”の原因とセルフケア

(一社)新潟県労働衛生医学協会 業務部 保健師 青木 理恵



スマートフォンやパソコンは、仕事でもプライベートでもなくてはならないツールとなっています。利便性がある一方、体への悪影響が懸念されています。そのひとつが、脳疲労です。今回は、脳疲労についてお話しします。



1.脳疲労の原因と症状

脳疲労とは、脳に過剰な負担がかかることで情報処理の機能が低下するため、日常生活に支障を来している状態をいいます。脳疲労の主な原因は、以下3点です。

①脳のエネルギー消費が大きいこと：考えるだけでなく、話す、体を動かす、内臓の働きや姿勢の保持など、意志に関係ない活動も脳がコントロールしています。

②マルチタスク（複数の作業を同時に行う事）の増加、スマホやパソコンによる情報過多：扱う情報が多いと脳の処理が追いつかず、脳に負担がかかります。

③睡眠の質の低下：脳の休息が不十分となり、疲労が回復しません。

脳疲労を起こすと、集中力の低下、ミスが増える、イライラする、寝てもすっきりしないなど生活や仕事に支障を来します。まずは、脳疲労に気づき早めに対処することが大切です。

2.脳疲労の予防とセルフケア

① 情報量をコントロールする

メモを取ることで、その内容を積極的に忘れるようにすると、次に入ってくる情報を処理しやすくなります。一日の予定をたて、やることリストを作成するのも有効です。スマホの依存や使い過ぎはよくないですが、情報やスケジュール管理にうまく活用し、マルチタスクの軽減につなげましょう。

② 睡眠の質を上げる

睡眠は脳の休息と、記憶整理の時間です。睡眠時間の確保だけでなく質も大切です。睡眠環境や寝具を整える工夫をしましょう。また、就寝前のデジタル機器の使用は睡眠を妨げるため控えましょう。

③ リラクゼーションを取り入れる

疲れを感じたら、森林浴をしたり、部屋に植物を置くと疲労回復の効果が期待できると言われています。植物の緑の香りのほか、柑橘系やラベンダーの香りもリラックス度を高めます。音楽を聴いたり、ヨガやジョギングなど適度な運動を取り入れることも有効です。

なお、当会では、管理栄養士や保健師による生活習慣に関するセミナーもおこなっています。どうぞお気軽にご連絡ください。

電話：025-232-0151（新潟県労働衛生医学協会 健康づくり推進課）

